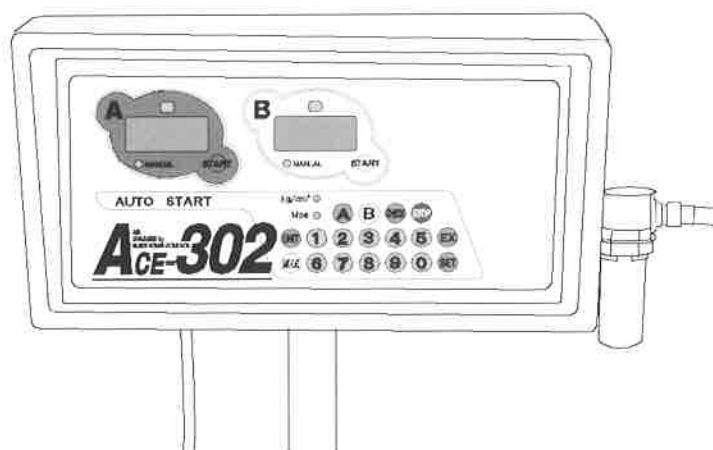


取 扱 説 明 書

AIR-CHARGER byELECTRONIC CONTROL

エース

ACE-303型・302型



※取扱説明書が現品と異なる場合は、販売会社まで請求して下さい。



注 意

製品を使用する前に必ず取扱説明書をよく読み、充分理解してから使用して下さい。
この取扱説明書はいつでも使用出来るよう大切に保管してください。



小野谷機工株式会社

目 次

1. まえがき	1
2. 使用目的	1
3. 危険・警告・注意事項	2
(1) 警告ラベルの貼り付け位置、内容	3
(労働安全衛生法について)	5
(2) 設置上の注意	6
(3) 一般的な注意事項	6
4. 安全対策とエラー表示について	7
5. 各部の名称	9
6. 操作手順	10
(1) 充填方法の切り替え	10
(2) 設定圧力の設定方法	10
(3) 充填	10
(4) タイヤ内の圧力チェックの方法	11
(5) 充填を緊急停止させる方法	11
(6) タイヤ内エアーを排気させる方法	11
(7) 特殊タイヤの充填方法	12
(8) 圧力表示の単位の切り替え	12
7. 標準付属品	13
8. 作動不良の場合の対策	13
9. 仕 様	14
10. 製品保証規定	15
(1) 保証規定	15
(2) 保証請求方法	15
(3) アフターサービスについて	16
(4) 設置(据付)及び移設について	16

1. まえがき

この度は弊社の **ACE-303.302 型**をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。

本機をご使用になる前に必ずこの取り扱い説明書を注意深く読みよく理解してからご使用ください。

取り扱い説明書に記載されている注意事項及び使用方法をよくご理解いただかないと、適正な本機の能力を発揮できないばかりか、人身事故やタイヤ・ホイールの損傷につながりますので充分なご理解のうえ正しくご使用ください。

また、取扱説明書・注意ステッカー等は大切にご使用して頂き万一紛失、汚損された場合は、速やかに購入のうえ、正しく保管、貼付してください。

2. 使用目的

本機は、簡単な操作で自動的にP.C.、L.T.、T.Bタイヤのエア充填を行うことのできる自動車整備用エア充填機です。

3. 危険・警告事項



警 告

この取扱説明書では「**危険**」「**警告**」「**注意**」について次のような定義と警告表示を使用しています。警告表示は、安全作業のために重要な事柄です。

人身事故や財物損害防止のため重要な事項が記載されていますので、必ずよく理解してからご使用してください。



危 険

……取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡、又は重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される場合。



警 告

……取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡、又は重傷を負う恐れが想定される場合。



注 意

……取り扱いを誤った場合に、使用者が障害を負う危険が想定される場合及び物的損害のみの発生が想定される場合。

(1) 警告ラベル貼付位置・内容

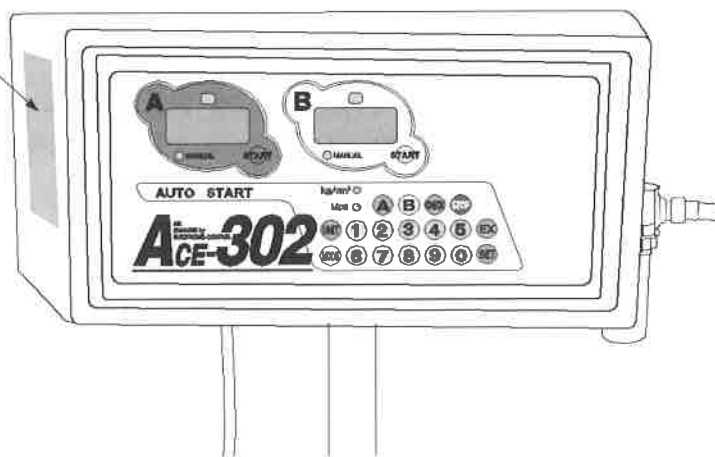


注 意

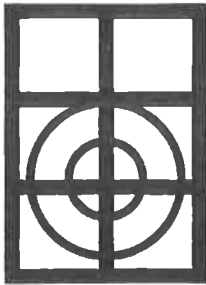
警告ラベルは大切に使用してください。万一紛失、汚損された場合は速やかに購入の上、正しく貼付してください。

警告ラベル貼付位置

 警 告	
	
エアースタンプ禁止。 指定空気圧を確認して入れすぎないこと。バーストにより重大な事故の可能性があります。	安全距離をすること。 バーストなどの重大事故時の危険防止のため、労働安全衛生法によって安全距離が義務づけられています。
	
エアースタンプは確実に。 エアースタンプをバルブにかみ込ませないとチェックがはずれエアースタンプが飛び怪我の可能性があります。	取扱説明書をよく読み理解した上で使用する事、誤操作により思わぬ事故の可能性があります。



警告ラベル内容

 警告	
	ここに示す警告事項は、タイヤチェンジャーの取り扱い方法を誤った場合に、使用者が怪我を負う可能性が想定される事柄です。 警告ラベルは、はがれや汚損された場合、お買い上げの販売会社から購入の上、正しく貼付して下さい。
エアー入れすぎ禁止。 指定空気圧を確認して入れすぎないこと。バーストにより重大な事故の可能性あります。	
	
安全囲いをする事。 バーストなどの重大事故時の危険防止の為、労働安全衛生法によって安全囲いが義務づけられています。	
	
エアーチェックは確実に。 エアーチェックをバルブにかみ込ませないとチェックがはずれエアーホースが飛び怪我の可能性あります。	
	取扱説明書をよく読み理解した上で使用する事。誤操作により思わぬ事故の可能性あります。

労働安全衛生法について

労働安全衛生法の労働安全衛生規則の第328条の2に於いてタイヤの空気充填作業を行うときは安全囲いの使用が義務づけられています。

(尚当社ではセーフティケージが用意されています。)

タイヤの空気充てん作業の基準

第328条の2 事業者は、自動車(2輪自動車を除く。)用タイヤ(以下この条において「タイヤ」という。)の組立てを行う場合において、空気圧縮機を用いてタイヤに空気を充填する作業を行うときは、タイヤの破裂等による危険を防止するため、当該作業に従事する労働者に、タイヤの種類に応じて空気の圧力を適正に調節させ、及び安全囲い等破裂したタイヤ等の飛来を防止するための器具を使用させなければならない。(根 20(1))

2 前項の作業に従事する労働者は、タイヤの種類に応じて空気の圧力を適正に調節し、及び同項の器具を使用しなければならない。(根 26)

(2)設置上の注意

1. 風・雨・直射日光は避けてください。
2. 設置場所はできるだけコンプレッサーに近い所に設置して配管も2分(8A)以上にしてください。
(充填時圧力低下をきたし、充填時間が長くなります。)
3. 充填用のエアースホースは約10mです。これを延長して使用すると正確な圧力の測定ができなくなり、正常に作動しません。
4. 電源はA C100Vです、絶対に200V電源を使用しないでください。内部の電気部品を壊す恐れがあります。



注 意

使用前には必ずエアーフィルターのドレインを抜いてください。ドレインが本機内部のバルブに回ると誤作動(エラーの発生)バルブの損傷の原因となります。

(3)一般的な注意事項

- ①取扱説明書をよく読み、よく理解してから使用してください。
- ②この充填機の操作は、使用方法を熟知した人以外は使用しないでください。
- ③始業点検および定期点検は、取扱説明書の本文に従って必ず実施してください。
- ④運転時に異音発生等、普段と異なる状態の時は、充填機の使用を禁止し、お買上の販売会社に連絡して、点検を受けてください。
- ⑤屋外設備仕様になっていませんので、水がかからないようにしてください。
- ⑥この充填機を自動車整備以外の目的に使用しないでください。

4. 安全対策とエラー表示



注 意

エア充填作業には、危険が伴います。ACE-303・302は2重・3重の安全対策を行っていますが、人為的なミスや突発的な故障に全て対応できるわけではありません。しかしながらこういう万が一の場合を考えて警告事項で述べている当社製のセイフティーケージなどの安全囲い物を使用してください。またタイヤにエアを充填中は充填中のタイヤから離れてください。

エラー表示の意味と解除方法



注 意

これはPCタイヤに誤って高圧充填する事を防ぐ為のエラー判定ですがタイヤの大きさやバルブとチャックのかみ合いの不具合によってもタイヤの圧力上昇は左右される為に、100%のエラー判定は保証できません。誤ってPCタイヤに高圧充填しないように、充分注意してください。

【E-1】 設定圧よりタイヤのエア圧が高い場合

タイヤ内にエアが入りにくい場合も含む

【E-h】 圧力上昇が大きすぎる場合

(例 PCタイヤに誤って高圧設定で充填した場合など)

初期充填の時エアチャックとバルブのかみ込みの不良などでタイヤ内にエアが入らなかった場合も含む

【E-L】 圧力上昇が少なすぎる場合

エアチャックからの漏れの場合が多い場合やORタイヤ等大径タイヤの場合初期充填を3回行い圧力上昇が0.3kg/cm²に達しない場合

【E-H】 圧力急上昇

エアチャックとバルブとのかみ込み不良などでタイヤ内にエアが入らなかった場合、もしくは電磁弁にドレインが回って電磁弁の誤作動によって起きるエラー

【E-E】 充填バルブの不良でエアが止まらなくなった場合

【L-L】 圧力が急に低くなった場合

元圧(コンプレッサー圧)が設定圧より低くなった場合など

エラー表示の解除

Aラインのエラーを解除するには **A** + **STOP** と押します。
Aラインの設定圧は000になります。

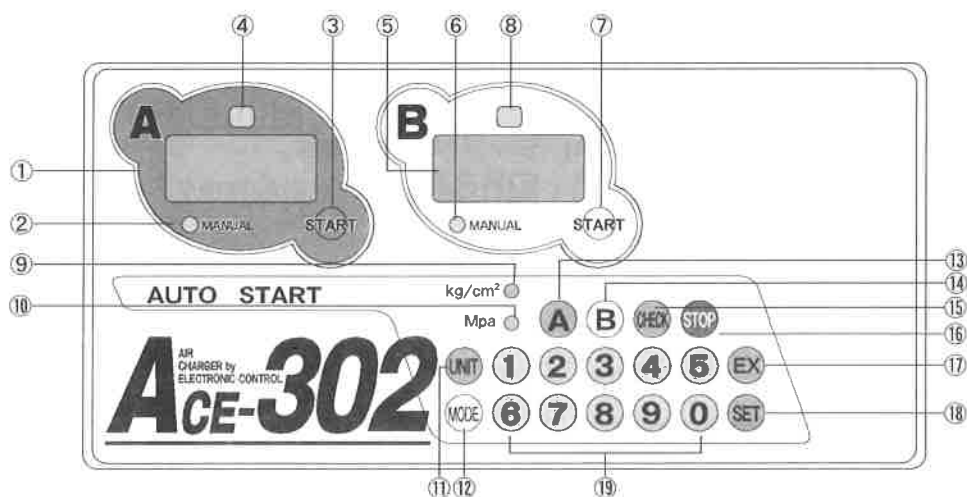
Bラインのエラーを解除するには **B** + **STOP** と押します。
Bラインの設定圧は000になります。

Cラインのエラーを解除するには **C** + **STOP** と押します。
Cラインの設定圧は000になります。

最初に **STOP** スイッチを押すと、全ラインのエラーは解除して充填中のラインは停止して設定圧はA・B・Cとも000となります。

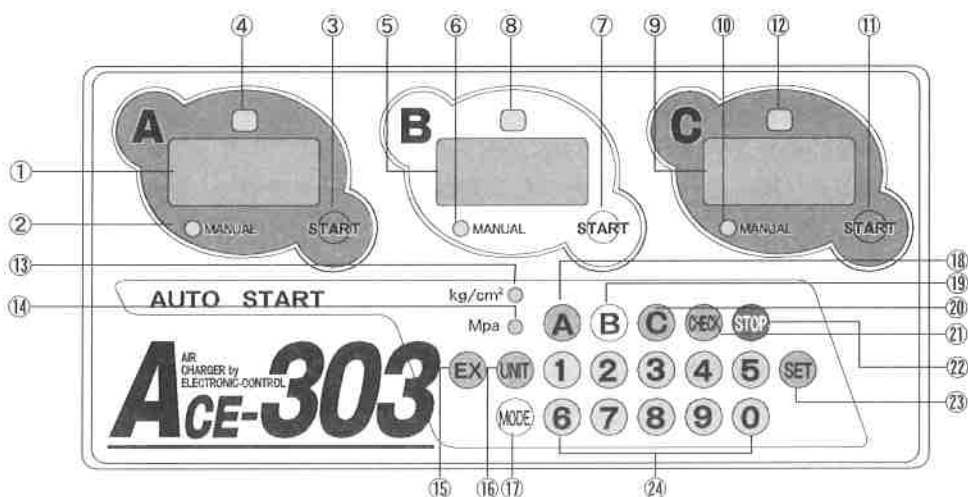
5. 各部の名称

ACE302



- | | | |
|-----------------|--------------------------|-----------------|
| ① Aライン・圧力表示 | ⑧ Bライン・チェックランプ | ⑭ Bライン選択ボタン |
| ② Aライン・マニュアルランプ | ⑨ kg/cm ² ランプ | ⑮ 圧力チェックボタン |
| ③ Aライン・スタートボタン | ⑩ Mpa ランプ | ⑯ ストップ(緊急停止)ボタン |
| ④ Aライン・チェックランプ | ⑪ ユニット(単位)切り替えボタン | ⑰ E X (排気)ボタン |
| ⑤ Bライン・圧力表示 | ⑫ モード(マニュアル・自動切り替え) ボタン | ⑱ セットボタン |
| ⑥ Bライン・マニュアルランプ | | ⑲ 数字ボタン |
| ⑦ Bライン・スタートボタン | ⑬ Aライン選択ボタン | |

ACE303



- | | | |
|-----------------|--------------------------|-----------------|
| ① Aライン・圧力表示 | ⑩ Cライン・マニュアルランプ | ⑱ Aライン選択ボタン |
| ② Aライン・マニュアルランプ | ⑪ Cライン・スタートボタン | ⑲ Bライン選択ボタン |
| ③ Aライン・スタートボタン | ⑫ Cライン・チェックランプ | ⑲ Cライン選択ボタン |
| ④ Aライン・チェックランプ | ⑬ kg/cm ² ランプ | ⑲ 圧力チェックボタン |
| ⑤ Bライン・圧力表示 | ⑭ Mpa ランプ | ⑲ ストップ(緊急停止)ボタン |
| ⑥ Bライン・マニュアルランプ | ⑮ E X (排気)ボタン | ⑲ セットボタン |
| ⑦ Bライン・スタートボタン | ⑯ ユニット(単位)切り替えボタン | ⑲ 数字ボタン |
| ⑧ Bライン・チェックランプ | ⑰ モード(マニュアル・自動切り替え) ボタン | |
| ⑨ Cライン・圧力表示 | | |

6. 操作手順

この説明書でACE302はCラインの項目は関係ありません。

(1) 充填方法の切り替え

Aラインを充填モードから切り替えたいときは **A** + **MODE** と押すと、マニュアル充填モードに切り替わり、AのMANUALランプが点灯します。

マニュアル充填モードの時 **A** + **MODE** と押すと自動充填モードに切り替わりMANUALランプが消えます。

Bライン、Cラインも同様に **B** + **MODE**、**C** + **MODE** で自動充填モード、マニュアル充填モードの切替えが出来ます。

(2) 設定圧力の設定方法

たとえば8.0 kg/cm²で充填したい場合UNITキーで、kg/cm²を選択して **A** + **8** + **0** + **SET** と押すとAライン表示が8.0となります。0.8 MPaで充填したい場合は **UNIT** キーで、MPaを選択して **A** + **8** + **0** + **SET** と押すとAライン表示が0.80となります。

B、Cラインも同様にそれぞれAの代わりにB、Cを入力します。

(3) 充填

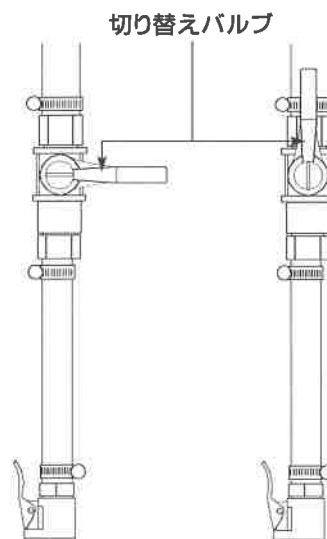
自動充填の場合

モードを自動充填モード(MANUALランプ消灯)にして切り替えバルブを閉じてエアチャックをバルブに咬ませます。次に圧力を設定します。

圧力の設定が終わったらホースの先端の切り替えバルブを開くと充填が始まります。

充填が終わるとブザーがブーッ、ブーッと鳴ります。

充填が終了しましたら切り替えバルブを閉じてエアチャックをバルブから外してください。この圧力設定でほかのタイヤに充填したい時はそのタイヤのバルブにエアチャックを咬まして切り替えバルブを開くと充填が始まります。



マニュアル充填の場合

モードをマニュアル充填モード(MANUALランプ点灯)にして圧力を設定してください。エアチャックをバルブに咬まして切り替えバルブを開き **START** ボタンを押すと充填が始まります。

充填が終わるとブザーがブーッ、ブーッと鳴ります。

マニュアル充填の場合は自動充填と違って切り替えバルブを開いても **START** ボタンを押さなければ充填は開始しません。

ブザー音はAライン充填完了時はAボタンを押すと止まります。
Bライン充填完了時はBボタンを押すと止まります。
Cライン充填完了時はCボタンを押すと止まります。



注 意

マニュアル充填モードでは、設定圧より高いタイヤ内圧時排気してその設定圧にする機能がありますが、自動充填モード時はできません。

例えば設定圧6kg/cm²で、タイヤ内圧8kg/cm²の時マニュアル充填モードでバルブにエアーチャックを咬まし **[SATRT]** ボタンを押すと、タイヤ内のエアーは排気されて6kg/cm²に達すると排気は完了します。

(4) タイヤ内の圧力チェックの方法

タイヤのバルブにエアーチェックを咬まして **[A] + [CHECK]** と押すとタイヤ内の圧力を表示します。

再び **[A]** を押すと圧力チェックは終了します。

Bライン、Cラインも同様に **[B] + [CHECK]**、**[C] + [CHECK]** で圧力チェックができます。

自動充填モードでチェックをすると0.1kg/cm²程度エアーが余分に充填されます。

[A] ボタンを押すとAラインのチェックモードは終了します。

[B] ボタンを押すとBラインのチェックモードは終了します。

[C] ボタンを押すとCラインのチェックモードは終了します。

(5) 充填を緊急停止させる方法

例えば、圧力設定のミスやタイヤの異常の場合など緊急に充填を停止させたい時そのラインのキー例えばAラインならば **[A] + [STOP]** を押すとAラインが停止します。同様に **[B] + [STOP]** でBライン、**[C] + [STOP]** でCラインが停止してそのラインの圧力設定は000になります。

最初に **[STOP]** ボタンを押すと、全ラインが停止して、全ラインの圧力設定が000になります。

(6) タイヤ内のエアーを排気させる方法

Aラインにチャックされているタイヤ内のエアーを排気させたいときは **[A] + [EX]** と押します。Aラインの表示がH-Aとなりタイヤ内のエアーは排気されます。

Bラインにチャックされているタイヤ内のエアーを排気させたいときは **[B] + [EX]** と押します。Bラインの表示がH-bとなりタイヤ内のエアーは排気されます。

Cラインにチャックされているタイヤ内のエアーを排気させたいときは **[C] + [EX]** と押します。Cラインの表示がH-Cとなりタイヤ内のエアーは排気されます。

最初に、**EX**を押すと、全てのラインが排気モードとなりH-A、H-b、H-Cと表示します。

A + **STOP** ボタンを押すとAラインの排気モードは終了します。

B + **STOP** ボタンを押すとBラインの排気モードは終了します。

C + **STOP** ボタンを押すとCラインの排気モードは終了します。

STOP ボタンを押すと全てのラインの排気モードは終了します。

(7)特殊タイヤの充填方法

①小径タイヤに高圧充填を行なう場合E-hエラーがでる場合があります。

②ORタイヤの様に大径タイヤに充填する場合E-Lエラーが出る場合があります。

Aラインの場合 設定圧を入力した後 **A** + **SET** と押します。

表示が一瞬OPPとします。

Bラインの場合 設定圧を入力した後 **B** + **SET** と押します。

表示が一瞬OPPとします。

Cラインの場合 設定圧を入力した後 **C** + **SET** と押します。

表示が一瞬OPPとします。

例えばAラインで5.0kg/cm²を充填したい場合

A + **5** + **0** + **SET** + **A** + **SET** と押します。



注 意

この操作における充填は1本のみです。引き続き他のタイヤを充填する場合は上記の操作を再度行って下さい。

(8)圧力表示の単位の切り替え

UNIT ボタンを押すごとにkg/cm²とMPaが交互に切り替わります。ラインごとの個別設定はできません、全ライン同時に切り替わります。



注 意

10.1 kg/cm²以上は自動充填モードでは充填できませんのでマニュアルモードで充填してください。

また現在のタイヤ空気圧より 0.2 kg/cm²以内の空気圧を多く入れたい時も自動充填はできませんのでマニュアルモードで充填してください。

例えば設定圧が8kg/cm²でタイヤ空気圧が7.8 kg/cm²時は自動充填ができませんのでマニュアルモードにしてスタートボタンを押して充填してください。

7. 標準付属品

エアーホース(チャック付)… 10m×3(302は2本)

エアーフィルター…………… 1

改良のため予告なく仕様を変更させていただくことがあります。

8. 作動不良の場合の対策

1. エラーメッセージが出た場合

例えば、Aラインの場合 **A+STOP** と押せば、警告音は止まり、設定圧は000となります。

2. 充填スタートキーを押してもエアーが入らず、E-Lのエラーエッセージが出る場合

何らかの条件により、メインの安全弁が作動しエアーの供給を停止しているものと思われます。一度電源を切り、2～3秒後電源を入れてください。

3. 充填オーバーがひん発する(E-h、E-H)

エアーの供給が非常に不安定と思われます。コンプレッサーの能力不足・エアー配管が細い、又は長いなどが考えられます。

4. 充填に時間がかかる。又、E-Lエラーが出易い。

エアーの供給不足と思われます。おそらく充填中の圧力は、10kg/cm²以下に低下しているものと思われます。原因は3と同じです。

5. 充填圧が実際の圧とは大きく違う。

何らかの具合で、ドリフトが生じたものと思われます。調整の必要がありますので、当社又は販売店にご連絡ください。

6. 電源をONにしても表示しない。

ヒューズが切れていないか確認してください。

7. 1ラインのみ充填時間が長い場合や1ラインのみエラーが多発する様な場合

エアーチャックの不良が考えられます。一度、他ラインのホースとつなぎ替えるなどして、エアーチャックの不具合を確認してください。

8. その他の作動不良に関しては、当社又は、販売店にご連絡ください。

9.仕様

	ACE-303	ACE-302
電 源	A C100V 50／60H z	
圧 力 測 定	拡散型半導体圧力センサー	
圧力設定範囲	1.3～12kg／cm ²	
	10m×3本	10m×2本
供 給 圧 力	12kg／cm ²	
本 体 寸 法	W400×D250×H1300	W300×D250×H1250
本 体 重 量	約30K g	約30k g

特別仕様

- ①壁掛け式
- ②キャスター仕様
- ③ホースリール仕様

10. 製品保証規定

(1) 保証規定

取扱説明書、本体注意ラベル等の注意書に従って正常な使用状態で保証期間内(納入後1年以内)に故障した場合は、弊社の責任に於いて無償にて欠陥部品の手直し、修理、取り替え、交換部品の送付をさせていただきます。

但し二次的に発生する損失の補償及び、次の場合に該当する故障は保証いたしません。

- ①使用上の誤り、保守点検、保管等の義務を怠ったために発生した故障及び損傷。
- ②商品の作動機構に悪影響を及ぼす変更(改造)を加え、それが原因で発生した故障及び損傷。
- ③消耗品が損傷し取り替えを要する場合。
- ④火災、地震、風水害、落雷、その他天災地変等、外部に要因がある故障及び損傷。
- ⑤指定された純正部品をご使用されなかったことに起因する場合。
- ⑥日本国以外でご使用の場合。
- ⑦保証手続きが不備の場合(例：型式及び機体番号の連絡が無い場合 etc)。
- ⑧設置に原因がある故障及び損傷。



注 意

このエアー充填機は屋外設置及び防水使用にはなっておりませんので、錆、腐食、漏電等の水による故障は保証いたしておりません。

(2) 保証請求方法

上記規定に基づき、本製品の保証請求を行う場合は、お買上の販売会社にご一報ください。必要な手続きを実施いたします。

尚、保証の要否は大変勝手ながら弊社に於いて判断させていただきますのでご了承ください。

(3)アフターサービスについて

調子の悪いとき	この取扱説明書の9項の作動不良の対策欄をご覧ください。
それでも調子の悪いときは	商品保証規定に従い修理をさせていただきますので、お買上販売会社へ修理を依頼してください。
保証期間中の修理について	保証期間は納入後12ヶ月以内です。商品保証規定の記載内容に基づいて修理させていただきます。
保証期間後の修理について	お買上販売会社にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望によって有料修理いたします。
アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点は、お買上販売会社にお問い合わせください。	
お問い合わせいただく際は、次のことをお知らせください。型式・機体番号・購入年月日・故障状況(できるだけ詳しく)。	

上記の事項を下表に記録しておくとお問い合わせの時便利です。

型 式			
機 体 番 号			
購 入 年 月 日	年	月	日
販 売 会 社	社 名	担 当 者	
	住 所	電 話	
設 置 業 者	社 名	担 当 者	
	住 所	電 話	
故 障 日 ・ 状 況	年	月	日
	年	月	日

(4)設置(据付)及び移設について

本製品の設置(据付)及び移設は、お買上の販売会社へ依頼してください。

移設の場合は販売会社による点検を実施してください。

取扱説明書

品 名 エアー充填機

型 式 **ACE-303.302 型**

初 版 発 行 月 日	平 成 15 年 8 月 1 日
-------------	------------------

改 訂 発 行 月 日	平 成 年 月 日
-------------	--------------------------

改 訂 発 行 月 日	平 成 年 月 日
-------------	--------------------------

改 訂 発 行 月 日	平 成 年 月 日
-------------	--------------------------

編 集 兼 発 行 者	機 工 技 術 部
-------------	-----------

発 行	小 野 谷 機 工 株 式 会 社
--------------------------	-------------------

無断複写・掲載を禁ず。

ONODANI 小野谷機工株式会社

本社／福井県越前市家久町63-1 ☎(0778)22-2124代

営業所／札幌	☎(011)791-8588	新潟	☎(025)281-8251
仙台	☎(022)255-7408	名古屋	☎(052)354-1021
秋田	☎(018)864-7875	大阪	☎(06)6701-7315
東京	☎(03)5970-6011	福岡	☎(092)582-6743

「販売会社又は施工業者の方へのお願い」
この取扱説明書は、お客様に必ず渡してください。